

災害時 ボランティア支援本部設置訓練

を実施しました!!

平成18年8月20日(日)に九品地競技場で市総合防災訓練が実施され、社会福祉協議会は一宮市防災ボランティアネットワークと協働し、ボランティア支援本部の立ち上げ訓練を実施しました。

ボランティア支援本部の役割は、災害時において被災者からのニーズを把握し、ボランティアさんに適切に伝え、安全に活動していただけるようコーディネーターが調整する機能が中心となります。

当日は大規模地震が発生したという想定で、避難所への給水、給食、救援物資、郵便物などを運搬するという訓練を実施しました。ボランティアとして参加された方も暑い中汗を一杯かきながら、真剣に取り組んでいただきました。



防災一回メモ

非常持ち出し袋には何が入ってるの？

ここ数年は各地で地震災害、水害などが発生し、皆さんの防災意識も高まりつつあります。災害に備えて非常持出袋を用意している家庭も多いと思いますが、その中身や用途はご存知でしょうか？

そこで一般的な非常持出袋の中身（非常時に必要とされるもの）をご紹介します。

非常持出品	用途	留意事項
保存食・保存水	避難所ですぐに食糧の支給があるとは限りません。最低限の準備は必要です。	長期保存可能な物がありますが、定期的に賞味期限の確認をしましょう。
携帯用簡易トイレ	仮設トイレが設置されるまで役に立ちます。	消臭機能があるとよいでしょう。
サバイバルシート	冬期は防寒、夏期は防暑対策に用います。	雨具などにも代用できます。
携帯ラジオ	有効な情報収集に便利です。	ライト付きの物もあります。
救急セット	消毒綿、ガーゼ、絆創膏などでケガなどの処置をします。	簡易な常備薬もあるとよいでしょう。
万能ロープ	登り降りの他、救助用にも活用できます。	

上記の他に必要物品もあると思われますが、持出品をコンパクトにまとめて、いざという時すぐに持ち出せるように準備しておきましょう。